

教科	国語	単元名	笑うから楽しい
----	----	-----	---------

本時のねらい

- ・筆者の主張とそれを支える事例について、文章の構成と関連させながら理解する。
- ・筆者の主張と、それを支える事例の関係を読み取り、自分の考えなどと重ねながら考えを伝えあう。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・ロイロノート上で、単元を見通した学習計画とシンキングツール、ワークシート、ふり取り等を行う。
- ・文章を読み取る力、図や表から読み取る力、多面的に見る、資料の情報を整理して伝えられるようにする。
- ・情報活用能力（とくに自己調整スキル・情報活用スキル・思考スキル）を効果的に養う。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・大型提示装置
- ・ロイロノート
- ・シンキングツール（Yチャート）

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	○前時の復習をし、本時のめあてを確認する。 めあて「筆者の意図を考えよう」 ○今回の、共有ノートやシンキングツールの活用法を確認する。 【写真1】	・前時の復習時も、前回使用した学習計画を見ながら振り返り、めあてをとらえやすくする。 ・今回の授業に関わる共有ノートの機能やシンキングツールの適切な種類やその使い方をしっかり確認する。
展開 (35分)	○グループで、3つの活動（個人思考・グループ交流・まとめ）の時間配分を決める。 ○ロイロノートの共有ノート機能を使って意見を一つのノートにまとめる。 ○グループで意見交流をする。 【写真2】	・ロイロノート上の学習計画を基に、活動手順や時間の見直しをもつ。 ・ロイロノートの「共有ノート機能」を活用し、個人の意見からグループ交流につなげやすくする。 ・シンキングツールを活用し、複数の視点をもって考えたり比較したりできるようにする。
まとめ (5分)	○「筆者の意図」についてまとめる ○個人・全体で振り返りをする。 【写真3】	・PCの画面を2分割（「グループで作成した資料」と「自分が打ち込む資料」）し、作業効率を上げる。 ・本時の内容だけでなく、前時の内容（学習計画やふり取り等）も含めて、まとめやふり取りを行う。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真1】学習計画で、本時の活動内容を確認している場面



【写真2】共有ノートで、グループ全員の意見を集約している場面



【写真3】「グループで作成した資料」を見ながら、自分の考えをまとめている場面

児童生徒の反応や変容

- ・ロイロノート上の学習計画を用いて学習することで、単元目標を念頭に置き、見直しをもって学習する姿が多く見られた。
- ・グループで共同編集させることで、主体的でかつ対話的に学ぼうとする態度が養われた。
- ・児童の側から学習の手段として、シンキングツールや共有ノートの機能を使っていくという姿が見られることもあった。
- ・収集した情報を自分なりに分析して、自分の考えをまとめることができるようになった。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・ロイロノートを活用することで、学習計画（授業計画）を児童と共有できる。
- ・タブレットPCでロイロノート及びシンキングツールを使うことで、教科の学びに役立てながら情報活用能力が効果的に養われる。
- ・共通の学習支援ツール（ロイロノート）を継続的に活用することで技能が向上し、児童の学習成果や課題がデータとして蓄積させることができる。そのため、単元を縦断的に、教科を横断的に、学年を系統的に指導しやすい。